

入善町 議会だより

9月定例議会

No. 59号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255
☎ 0765 (72) 1100



お湯150トンを寄附します

▲調印を終えて固い握手(左から大林議長, 袖木町長, 林友愛病院理事長)

議長の立会で 覚書に調印

医療法人社団友愛病院が母見地内で掘削し、良質で豊富なお湯が湧出した温泉をめぐって、町議会特別委員会でも数回に亘ってその利用についての論議を重ねてきました。

町でも公共施設に利用するお湯を確保するために、友愛病院側とねばり強く交渉を続けてきましたが、六月二十九日に大林議長のあっせんで大筋の合意がなされ、その後、細部の詰めも終えて、十月二日、お湯百五十トンを寄附することなどを盛り込んだ覚書に正式調印が行われました。

これにより、町では現在建設中のデイサービスセンター、地域交流ホームに引湯するための配管工事を行い、来年春には町民ふれあいの場としてこの温泉を利用できることとなります。

泉源地には 地上権を設定

覚書には、①泉源地から湧出する温泉のうち一日あたり百五十トンの受湯権を寄附する。②泉源の町有地には友愛病院の地上権を設定する。③賃付料は三・三平方メートルあたり米一・八にとする。などが盛り込まれ、問題が起きたときは協議を行うことになっております。

第15回

9月定例会

会期13日間

9月定例会は16日から28日までの会期で開催され、62年度一般会計補正予算など議案3件、請願3件、陳情1件、議員提出議案3件、同意案4件をそれぞれ原案どおり可決、採択しました。

また61年度決算認定については決算特別委員会を設置し、12月定例会までの継続審査としました。

二億三千四百万円を補正

助役・収入役・教育委員の選任に同意

議決した主な議案

※昭和六十二年入善町一般会計補正予算(第四号)
 二億三千四百四十八万二千円
 の増額を行い、予算総額を五十九億五千六百九十九万九千円とした。

補正の主なもの

- デイサービスセンター(舟見寿楽苑に隣接し建設中)への事業委託料、温泉引湯施設整備など 二千九百二十二万二千円
- 地域交流ホーム運営、デイサービスセンター地域交流ホーム建設への補助金 一千五十万円
- 小沼戸保育所(現在建設中)の井戸新設と外構工事 七百二十五万円
- 県単水路整備(新屋島地内) 一千五百七万円
- 農村基盤総合整備(上原・横山地区) 二千四百八十二万六千円

海岸保全施設整備

三千九百四十万円

道路新設改良

二千三百三十五万円

黒部川河口公園整備

一千四百一十一万円

親水公園整備

一千五十万円

災害復旧費

二千三百三十万円

※昭和六十二年入善町簡易水道特別会計補正予算(第一号)
野中簡易水道の給水量が減少したため、給水能力の調査費百五十万円と西部簡易水道施設の修繕料二百万円を補正した。

採択された請願・陳情

- ◇補修改修工事施工に関する請願 (美善町)
- ◇チューリップ産地特別対策事業の導入についての請願

選任に同意

◇県営土地改良総合整備事業入善町東部地区の新規採択に伴う請願

◇町道、古林線の雪対策に関する陳情

決算特別委員会設置

昭和六十一年度決算認定は、十二月定例会まで特別委員会の議事閉会中の継続審査とした。

- 委員長 松沢 孝衛
 副委員長 広瀬喜代志
 委員 本多 幸男
 " 四尾 三郎
 " 本田 幸光

議員提出議案

会議規則を改正

◎入善町議会会議規則の全部を改正する規則
最近の議会運営の実態に即応するために全国議会議長会では、標準会議規則の全部改正を行ったので、町議会もこれにあわせ

て会議規則の見直しを行い、全部改正した。
◎入善町議会委員会条例の全部を改正する条例
議会委員会条例も、条文の変更などの見直しを行い、全部改正をした。

◎人事院勧告の完全実施に関する意見書

宝田助役を選任

上田収入役を選任

教育委員には窪野氏

県から出向していた増山良治助役の辞任申し出に伴い、助役の後任として宝田幸雄収入役を、収入役の後任に上田修企画財政課長を選任することに同意した。
また、森栄教育長の任期満了に伴う後任の教育委員には窪野康則氏(富山市堀川小学校長・入籍)を任命することに同意した。

情報公開審査会委員 五名を任命

情報公開に関する異議申し立てを審査する情報公開審査会委員が八月三十一日で任期満了となったので、新たに次の五氏の任命に同意した。

- 入善町高瀬 岩田政博
- " 入 勝 岩場 俊
- " " 上野幸子
- " 上飯野 上島藤吉
- " 一 宿 永井 浩

町 9月21日 政 質問 いっぱん

6議員が “熱弁”

おいしい入善米 強力にピーアールを

本多幸男議員（清新）

米の自由化論議をめぐって間違
った報道がされているように思う。
米の品質や生産費などを比較して
正確に伝えてほしいと思うが、町
長はどのように受けとめているか。
また、食糧管理制度は生産者・消
費者ともに恩恵を受けている制度
だと思いがどうか。

富山県の自主流通米の約一割が
入善米である。農協とタイアップ
して入善米コシヒカリのピーアール
を強化すれば、売値格差がある
新潟産米との差を縮めることがで
きるのではないか。東京入善会や近
畿果人会などの組織を通じて入善
米の販路の拡大運動を強力に展開
していただきたい。

**食糧管理制度は
堅持すべきだ**

町長

米価の国際価格の比較は数字だ
けでは評価できない。量より質が
求められていることから、一部
の数字だけをとらえて評価するの
はどうかと思う。国民が消費する
食糧は、その国で生産することが
一番大切である。

食糧管理制度を廃止すると、価
格の安定を図ることが困難であり、
国民生活の安定を脅かすことも考
えられることから、この制度は堅
持すべきと考える。
米の消費拡大や入善米のピーア
ールについては、米消費拡大の標
語募集を行ったり、西宮球場での
西式・飯急戦の時、入善米コシヒ
カ리를抽選で入場者に配付するな
ど、ピーアールや消費拡大に努力
している。



▲おいしい入善米の出荷に大忙し
— 農協新屋支所で —

企業の誘致が必要

問 近年、都会で学んだ青年のウツ

農政課長
六十一年産米の大阪での値動き
は、新潟産米二万五千五百円に対
して、富山産米は二万三千六百円
で、福井・石川産米より千五百円
ほど高くなっている。今後は買入
業者とねばり強い交渉を重ねなが
ら有利な価格で販売する取り組み
も大事だと思う。
米のピーアールについては、福
俣を利用した宣伝、東京や大阪な
ど組織の活用、入善町の東西に入
善産コシヒカリのイメージアップ
を図る看板の設置等も考えている。

税収は二十五倍

町長

昭和三十七年頃から農工一体化
を目指し、三十九年の新和工業を
皮切りに入善機械工業センター、
白馬プラスチック、舟見ベアリン
グ、富山日本電気が順次操業して
いる。昭和四十年頃と比較すると
事業所の数は四十五から百二十五、
従業員数は二・六倍、税の面では
二十五、六倍になっている。
近年の円高、貿易摩擦などの経
済環境が工場誘致の成否に大きく
影響するなかで、六十一年、六十二
年度には北日本物産によるプロパ
ンガス充塲場、明成商會が操業し
ており、双葉グイスは拡張、ロイ
ヤル工房は操業準備をしている。
また、東洋紡績へ社宅付近の再開
発ということで関連企業誘致をお
願いするなどして工場誘致に取り
組んでいる。

町税の増収分で 住民ニーズに対応

問

昭和六十二年の上半期をター

ンするに当たり、町税の収入見込みはどうか。過去の例から見ると、当初予算に対して一億円程度の増収が期待できるのでないか。過大見積もりで歳入欠陥になっても困るが、できるだけ決算数値に近い数字を予算化して町政に反映すべきだと思う。

もし増収が見込めるとすれば金額はどれほどか。また、増収があれば住民から出されている請願・陳情をヒツチを上げて実施する用意があるか。

七千五百万円の伸びを期待

町長

税収の伸び率は五十年代後半までは前年対比十割から十三割程度だったが、最近では七割程度にとどまっている。町税の増収見込みは個人町民税で約四千万円、固定資産税三千万円、その他の税で五百万円、合計七千五百万円程度の伸びを期待している。

計画財政、健全財政を堅持するには、歳入の過大見積もりは絶対排除すべきであり、将来の状況変化に対応する財政の弾力性の確保が一番肝要である。

企画財政課長

町税の自然増収があれば、人事院勧告完全実施の財源、除雪対策費、その他公共事業費の追加割り当て等、住民ニーズに対応しながら効率的に執行したい。

標準税率に引下げを

問

固定資産税の標準税率は百分の一・四であるが、県内で標準税率を適用しているのは二市村だけ。

入善町・朝日町は一・五、宇奈月町一・七、魚津・黒部市一・六である。また全国三千二百五十四市町村の八十八割が標準税率を適用しているのに富山県は五・七割と低いのはなぜか。

三年毎の評価替えという重税感解消するために、標準税率を下げる考えはないか。また、下げた場合にその財源をどこに求めるかお聞きしたい。

税率〇・一で六千万円

町長

地方税法では標準税率は百分の一・四で、百分の二・一を超えてはいけないと定められている。全国的にみて富山県が高いのは、自主財源が少ないというのが一つの要因ではないか。これを根本的に直すためには、国と地方公共団体との税財源の再配分が必要であり、事業に見合った再配分を図るよう働きかけたい。税率を〇・一下げると約六千万円の税収減になり、多様化された行政ニーズに応えるには、税財源の確保がせひとも必要であることから、今税率を下げることはできない。

住みよいおらがふるさと イメージアップにCI作戦

広瀬喜代志 議員 (自民)

り出している。

町のビジュアルなくして企業も人も寄ってこない。だれにでも覚えてもらえるCIづくりを真剣に考えてはどうか。

商工水産課長

町のイメージを強く、広く町外や県外にアピールし、町の存在を全国的に知ってもらうことは、そのまま商工業の活性化や町の活性化につながると思う。

CIづくりとしては、町のイメージアップに関する町民のみならずの意識調査をするとか、次代を担う小中学生から作文や標語を募集するのも一つの方法かと思う。現在、関係各課と協議している。

第三セクターで CATV事業

問

昭和五十八年はニューメディア元年と言われており、先端技術の進歩はめざましいものがある。

われわれの身辺も嫌おうなしにニューメディアと接触していかなければならぬ時代に突入した。

最近自治体でもCATV(有線テレビ)を取り入れた所が出てきているが、入善町でも第三セクターによるCATVを検討する気はないか。現在計画されている中央通り線や国道8号線の拡幅に合わせて光ファイバーの引き込みを行ってはどうか。

町長

町としては時代の流れというものを敏感に受けとめて、いろんな事業を企画、実行することが大切と思う。

何を要望したか 新年度補助事業

問

国の六十三年度予算の概算要求では、六十二年当初に比べて十二・五割増となっており、特に、国庫公約である内需拡大のために、公共関連事業の要求は十六・二割増の大幅な伸びとなっている。

財源の乏しい町としては、この補助金獲得に努力されていることと思うが、来年度予算編成に当たってどのような事業を国庫へ要望しているのか。また、現在の公債費比率と地方債、債務負担行為の総額はいくらか。

ニーズに応え 健全着実に

町長

現在、五十八年に策定した入善町新総合計画を基に毎年ローリングをしながら事業を進めている。六十三年度の補助事業としては

海岸保全事業をはじめとして、漁業集落整備や農道整備のほか、新しい市街地形成をめざして中央通り線改良事業の着工に努力している。特に目新しいものはないが、常に住民のニーズに応えながら健全・着実に迅速に取り組んでいきたい。

企画財政課長

六十一年度末の起債は二百二件で四十七億七千四百万円、債務負担行為は三百二十三件で十八億八千三百万円となっている。

六十二年度末には、起債は四十五億五千八百万円、債務負担行為は十八億一千二百万円、兩者を合わせた単公債費比率は十九・五となる見込み。

この数字が大きくなると財政の柔軟性が少なくなり、公共事業に対する起債の制限を受けることもあるので、今後の財政運営に当たっては、計画性と健全性に徹する必要がある。

医療費の増加は大きな社会問題

問

人口の高齢化に伴い、医療費の増加は大きな社会問題になっている。町でも六十五歳以上の方々が十四・五割を占めており、寝たきり老人や、それに近い方々も相当数にはのぼると聞いている。

デイサービスのような一時的な福祉政策では対応できない時代が来るのではないか。

自分の健康は自分で守ることが必要だと思うが、急速な高齢化社会への進展に対応するために、予防医学という立場でどのような対策を考えているか。

**在宅福祉の拠点に
デイサービスセンター**

町長

老人福祉の問題は生活の安定、健康、生きがいと言われている。年々増加する寝たきり老人に対応するためには、今までのような施設保護中心主義では困難になってきている。施設は建設するにも管理するにも一つの限界があり、これからは在宅福祉の形で老人の問題を考えていく必要がある。

健康で長生きしていただくために、予防医学的な立場から、人間ドックや健康管理、食生活の改善などに取り組んできており、今後も努力したい。

福祉課長

今年度にはデイサービスセンター、地域交流ホームを建設するので、在宅福祉や地域コミュニティケアの拠点として活用する。

利用者のニーズに応じた入浴サービス、生活指導、日常動作訓練、家族介護者教室などを通じて、老人福祉の推進を図りたい。

豊かな高齢化社会を築くためには、行政、高齢者のみならず企業や地域社会、家庭がそれぞれの役割を果たしながら、相互に協力していかなければならない。

発想の転換で赤字解消

武村福祉会館の管理運営

結婚相談所の開設を

問

広報にゅうぜんで結婚事情の深刻さが掲載され、知事と語る会の席上でも結婚問題を行政で対応してほしい等の意見が出たように、地区の人々からお嫁さんがいなくて困るといふ声が多くなってきているが、県下に先駆けて行政で取り組む考えがないか、これは武村福祉会館の利用増につながるのではないか。

武村福祉会館の利用者は六十年より六十一年度は五千五百四十二名減少し、支出額は九十六万六千七百九十九円の増になっている。また、結婚式場の利用では、六十一年度は五十七件と当初の三分の一に減少し、民間企業なら倒産していると思う。住民ニーズを把握し、思い切った発想の転換をして、赤字経営から脱却し、町の大きな荷物にならないようお願いしたい。

直営は馴じまない

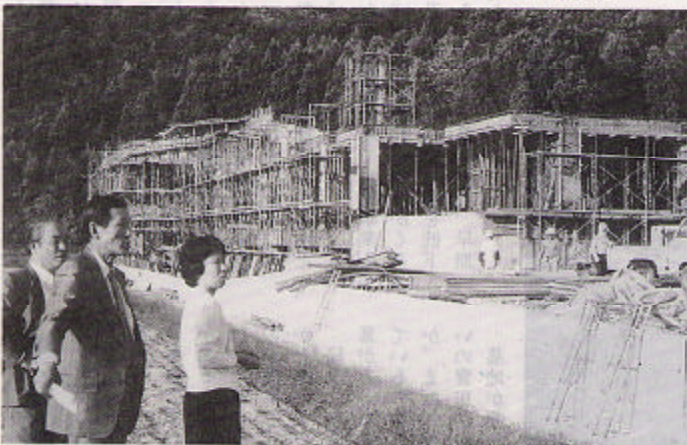
町長

結婚難はいろいろな問題があり行政サイドの介入で解決することは難

佐藤学英議員（自民）

しい。結婚相談所は今開設している農協や婦人会、青年団等に相談し方法を考えたいが、行政を窓口として開設するのは馴じまないと思う。武村福祉会館は四十六年に建設され、その後、民間の立派な結婚式場が進出したのが利用減の大きな理由と思う。会館の設備や備品

▼舟見寿楽苑横で建設中のデイサービスセンター、地域交流ホーム



**解決したのか
町民会館・温泉問題**

問

等を豪華にしてもあまり効果がないと考える。会館は武村氏から寄附していたから相対年月が経過しており、大幅な改善をしなければならぬと痛めている。しかし、寄附していただいたものは、有効、適切に管理し、町民のみならず喜んで活用していただけることを重点に管理運営に努めたい。

町民会館用地提供者への代替地に予定していた建設省跡地に五年間の転売禁止条件がつけられており、臨時議会でも賛約金等の予算を可決したが、その後、地権者や国との契約など、町民会館敷地問題は完全に解決したのか。

温泉問題は議長あつせんで両者が合意をされたが、事務的な細部についての協議はその後どうなっているか。

デイサービスセンター、地域交流ホームが二億四千万円余りで建設され、

新春からオープンになるが、この施設の管理運営や事業主体はどうなるのか。また、舟見寿楽苑とどのような話し合いがなされ、特に地域交流ホームは町民ふれあい温泉のイメージがあるが、入湯料などを含めて町の考えを聞きたい。

すべてを完了 運営は両者で協議

町長

町民会館用地問題は、土地交換契約書の内容に基づいて高山財務事務所並びに土地提供者と慎重な検討を重ねた結果、八月末成案を得て、九月三日交換契約を締結し、九月十七日登記事務の一切を終了し、すべてが完了している。

温泉問題では、九月五日に意見交換を行った結果、町有地を「無償で貸与」を、「有償で貸与」することにし、地上権の設定を温泉の供給期間と同一のものとする事で合意した。

地域交流ホームの設置主体は、社会福祉法人舟見寿楽苑であり、町がこれに対して財政的な支援をするものである。

また、管理運営については、舟見寿楽苑と町、議会の代表者で運営委員会を編成して大綱的なものを作り、それに基づいて舟見寿楽苑に管理運営してもらうのが一番よいと考えている。入湯料等は類似施設等の実態を十分把握し、できるだけ多くの町民が利用できるよう運営委員会で決定したい。

防除機械をふやせ アメリカシロヒトリ対策

問

近年、アメリカシロヒトリが大発生し、各所で被害を受け樹木が枯れているのが多く見受けられる。特に桑・桜・プラタナス・柿・柳等だが、町ではこの問題をどう受けとめ対応しているか。また、公共施設の対応はどうか。

町に防除機械の借り入れ申し込みにしても一週間程度かかることか

63年着工決断を 入善小学校の改築

入善小学校の改築

問

昨年六月に入善小学校改築促進協が結成され、以来十数回の会合がもたれている。他校視察や先進地校の校舎の状況等についての検討を進め、着々と準備が進んでいる。あとは町長の決断を待つのみである。

国では内需拡大策として、公共事業の優先を打ち出している。町でも、国道8号線の拡幅や中央通り線の問題など、大事業が予定されており、こういう中で財源的にも難しい点もあると思うが、ぜひとも六十三年度に必ず着工する

ら、散布時期を逸することがある。機械を増台する考えはないか。建設課長

アメリカシロヒトリの防除は、保育所や学校などの公共施設を重点的に行っており、土・日曜日には地域への貸し出しをしている。町民のみなさんの要請にできるだけ対応したいが、機械は一台しかないもので、要請が重なったときは民間の業者からも借りていただくよう協力をお願いしたい。

春先のネットに被っている時に取り除くのも一つの方法かと思う。

春先のネットに被っている時に取り除くのも一つの方法かと思う。

本田 幸光 議員（自民）

ということをはっきりと言明していただきたい。

補助金と起債の 増額を期待

町長

七月二十三日に県教委に危険校舎の不認定部分を調査してもらった結果、大抵認定されるだろうと見通しが立った。これが確定すれば飯野小学校程度の補助金と起債が期待できることになる。

財政的な見通しでは、六十三年度から中央通り線が着工になるが、

着工しても直ちに国の補助金は大きくは期待できない。入善小学校を早期に着工すれば建設に伴う必要な財源と、中央通り線の改修に伴う町の持ち出し財源とがまともにぶつかるのを避けることができるのではないかと考え、昭和六十三年度から入善小学校の建築に踏み切りたいと今決意をしている。三年間の継続事業になろうかと思う。

墓地公園の中に陥没したところがあると聞いた。昔、墓盤整備を行った時に木の根っこを埋めたものが腐敗して陥没したのではないかと聞いている。

問

陥没した所に新しく建てられた墓があったと思うが、今どうなっているのか。墓の建て直しは何基か。また、建て直すのにどれくらいの費用がかかったか。

墓地が売れないのは、墓地公園内に車や機械がはいらないのが原因の一つと聞いている。車や機械がはいれる出入口をつくる考えはないか。

墓五基を移転

環境保健課長

墓地公園の山手側駐車場付近で地盤沈下が目立ってきたので、試掘した結果、表層から二、三メートルの根や木の株がはいっていた。これは公園造成前の墓盤整備時に埋めたもので、この木の根株が腐蝕して

▼墓を移転した後に花壇を造成 — 上飯野墓地公園 —



墓地公園で 一部陥没

地盤沈下を起こしている。このため地盤沈下の直接影響を受けると思われる十一区画の使用を中止し、葺の移転五件、区画だけの四四件、あわせて九件の方に動いてもらい、その後には花壇を造成した。

移転費は一基当たり約三十万円

除排雪に支障ないか 黒東合口用水の改修

九里郁子議員（共産）

問

国営かんばい事業で用水改修のため来年三月まで減水になる。これまでの各用水は冬場の契約水量に北電排水路からの上乗せ分を加えた水量で対応してきたが、減水になった段階で平年時の何割減水になるか。冬場に向けての除排雪に支障がないか。また、防火の徹底についての具体的方策と防火水槽の整備・点検状況はどうか。なお、以前から農業用水路への取水口を大きくし、冷害対策上合口用水路の断面を広く浅くするような対応してきたが現況はどうか。

状況を見ながら
対応する

町長

取水口の断面等を決めるときは、かんがい面積や圃場の保水力、過

となつては、造成当時、出入口については、造成当時、現在のような大型機械を予想していなかったで、新年度に大型機械がはいれるような入口を整備したいと考えている。

去の使用水量データなどを基本にして決められるので関係機関と協議し、実施設計の段階で町の意見が十分反映されるよう調整したい。

建設課長

現在は契約水量以上にはいって、いると思う。冬場になって例年以下の水量になるかは今のところ予測できないが、状況を見ながら降雪期の対応をしていきたい。

消防長

減水期間中、一市三町の関係機関で防火対策連絡協議会を設立し、防火対策の協議を重ねている。入善町としても地区区長会長や消防分団長による合同会議を行って万全を期するよう要請した。今後も気象条件にあわせて啓蒙、パトロールに留意していきたい。

防火水槽は、八月から今月上旬にかけて、四十五ヶ所全部について点検した結果、二ヶ所土砂のたま

▼黒東合口用水改修の説明を聞く 一 暮ノ木仮取水口で



補助少なく転作上乗せ 土地改良総合整備

問

吉原、柳原の両地区で実施される土地改良総合整備事業は、一般土地改良事業に比べて補助率が六十割と低く、農家の負担が重くな

つているものがあつたので地区分団に除去を要請した。増設については密集地を中心に計画的に設置していきたい。

つている。その上、当該地区の転作率は三十三割に義務づけられており、それが一回で済むのか何年も続くのかもわからなく、農家に不安を与えている。農家に内容を詳しく説明し、納得を得た上で事業が、排水施設や農道整備を早く実施してほしいという農家の要望を利用して減反面積を増やし、補助金を減らす。このような農民つぶしの政策を進んで受け入れる町のやり方は農業を基幹産業とする方針に逆行しないか。

農家の 自主的 判断

町長

土地改良総合整備事業は上原土地改良区が主体となつて吉原、柳原両地区で行われるが、これは決して町が押しつけているものでなく、その条件を理解し、土地改良区が農民の意見を取りまとめ、農家の自主性で土地改良区が受益面積について三分の一ずつ三か年で実施するものである。

加入者全員に 健康保険証を

問

このことが国の政策として農民つぶしなのか、あるいは農業の基盤整備をしながら食糧制度を守るという原則のもとに、必要な事業と受けとめるかはそれぞれの認識の違いである。この種の事業を行えば農民の負担は多くなり大変だと思つたが、水や圃場の管理がしやすくなるメリットもあるため、農家の自主的な判断で行われているものと確信している。

悪質滞納者から保険証を取り上げ、資格証明書代わりに発行するという制裁措置を内容とした国民健康保険法が改悪され、いまの健康保険証が十月一日に更新されるが、滞納者の七十割は所得百五十万円以下の低所得世帯である。滞納を理由に保険証の不交付が進めば国民皆保険の柱である国保制度を解体させかねない。更新時には加入者全部に保険証を交付すべきである。また、国保税の見直しと減免制度を充実することが必要でないか。

悪質滞納者には 制裁も必要

町長

六十一年度国保滞納者は二十七名で低所得層に多いことは指摘のとおりだが、あくまで税法上の

商店街の活性化で 活力ある町づくり

課税所得で、遺族年金や労災年金などの非課税所得や、課税所得であるが六十五歳以上の年金収入は百六十八万円以下の場合、所得がゼロになるなど、数字上の実態だけでとらえられない面もある。低所得者の賦課に当たっては低所得者減額を行っており、負担能

力に応じて課税されている。損税力がありながら納税しない真に悪質な滞納者には、納税の公平上やむを得ない措置と思う。特別事情があればいろんな救済制度もあり、十分意を尽くし対処していきたい。

竹内 壮太 議員（清新会）

環境整備には 積極的に協力

町長

大型店舗と既存の商店街とが共存共栄していく体制を整えることが一番理想的だと考えている。

商店街では、かつては大型店舗反対という空気があったようだが、今では大型店舗は町の一つの顔であり、町に必要なものだという認識が商店街にも消費者の中にも定着してきたのではないかとと思う。

現時点ではまだ具体的な話はないが、土地のあっせんなどの協力要請があれば努力したいと思っている。建物の建設自体に助成するのはどうかと思うが、それに関連しての道路や排水路の整備などに

中央通り線は 進展しているか

町

都市計画道路中央通り線と新しい商店街づくりを切り離して考えることはできない。

現在、中央通り線の改良工事を実施事業として六十三年度着工に向けて陳情されていると聞いているが、現段階でどのように進展しているのか。

県営事業で 63年度着工

町長

中央通り線は総延長の八割くらいが既存の県道の拡幅になるので県施工でお願いしたいと陳情している。

県では、用地買収や補償の問題を町の責任でやってもらえるなら県営事業として実施すると言っており、町としては厳しい条件だが、三十年来の懸案事業なので、協力しながら進めていきたいと決意している。

教育委員には 情熱のある人を

町

入善小学校の改築については六十三年度から着工したいという明快な答弁があったが、現在流行と

なっているオープンスペース校舎の活用について、従来の箱型教育の継続ではオープンスペースは全く意味を持たないと聞いている。教育現場の先生方は熱心に研究され、努力されていると思うが、システムを生かすためには熱意を持った人材の確保が必要である。今議会でも提案される教育委員の選任に当たっても、人格識見は言うまでもなく、学校改革に伴う業務に精通した人、情熱を持ってオープンシステムに取り組んでいただける人を選任してもらいたい。

中心校にふさわしい ゆとりある校舎に

町長

入善小学校は六十三年度着工に向けて、現在六社による設計コンペを行っている。

地理的条件からみても、また児童がふえるだろうと想定して、ゆとりのある校舎を考えている。

体育館は生連スポーツの場としても活用できるように、社会体育館的な要素も充分組み入れたい。

町の中心校であるので、将来に悔いを残さないような立派な学校を建設したいと思っている。

教育委員には専門的な識見と熱意を持った人を選任したい。



▲車と人で混雑する
中央通り線
—農協スーパー前—

常任委員会・審査のあらまし



高率補助事業の 獲得に努力を

今回の補正額は二億三千四百四十八万二千円で、この財源内訳は国庫補助金が一億四百三十七万円を占めている。国庫の補助事業の決定と、政府が国内外に公約した緊急経済対策としての内需拡大策に伴う補助事業の組み入れによるもので、その他、デイサービスセンター、地域交流ホームの来年一月オープンに向けての諸経費を含めて、不足分は繰越金を充当するものである。

海岸保全事業や漁港災害復旧事業、黒部川河口公園整備事業、農村基盤総合整備事業はいずれも高率補助で、特に町土を日本海の荒波から守る海岸保全事業は、金額、国庫で賄われるもので大変ありがたい。町としても、財政難のときであり、今後とも高率補助事業の獲得に精いっぱい努力されたい。

当初予算に計上されていた売上譲与税二千六百万円と利子割交付

金六百万円の金額削減については、

先の通常国会で、売上税が廃案となり、さらに臨時国会で税制改正案が成立し、小額貯蓄非課税制度の原則廃止、一律二十割の分離課税が六十三年四月実施となったことによるものである。

これに伴い、売上譲与税に移行が予定されていた電気税の六十三年一月分と二月分の復活二千七百万円、併行課税となっていた町たばこ消費税の一、二分分該当額五百万円の歳入計上は当然の措置である。

用地交渉は 各課の連絡を密に

歳出予算のうち、徴税費の公団作成委託料六十万円については、特に問題はないが、町の長年の懸案事業である都市計画道路中央通り線の着工も目前に迫っている。用地買収、交換に当たっては、溝一本でもトラブルの基になるので、関係各課と密接な連絡をとりながら現況の調査確認を行うよう希望する。

町民のための念頭に デイサービス・地域交流ホーム

一般会計補正予算額二億三千四百四十八万円の二十五割にあたる五千八百九十万円が当委員会への付託であり、そのほとんどは現在建設中のデイサービスセンター、地域交流ホームに係わるものである。

今回の補正は、温泉引湯施設設備工事費をはじめとして、来年一月にオープンするデイサービスセンター事業委託料や地域交流ホーム運営補助金などで、現在まで総事業費約二億六千六百万円のうち、一億八千万円の町費をつぎこんでいる。また町有地から湧出した温泉を利用しての町民ふれあい温泉の要素もある。

建物の登記はすべて社会福祉法人舟見寿楽苑になるということだが、管理運営については町の意見が充分反映されるような態勢づくりに努力されたい。

工夫したい選別処理

衛生費の不燃物選別委託料五十万円の追加については、以前は

取入にみられたのに、現在は逆に私わなければならないということだが、時代の流れてやむを得ない措置かと考える。

不燃物の埋立地は、現在どうにもならない状況になっている。今年度で現在の横に防漏林用地を購入し、そこに埋立てするということが、出てきたものを選別しないのでそのまま埋めると一年もたないというところで、広域圏で共同処理される三年後までのつなぎとして、手をかけて処理するのやむを得ない。

農婦人の家の井戸新設工事費百五十万円は、現在利用している井戸に油が混じったということである。人間の飲む水であり、一日も早くうまい水が飲めるように早く対応されたい。



アイデアと努力で ふるさと特産品

当委員会に付託された予算は、一億七千三百五十万円で総額の七十四割を占めている。

そのうち、国庫補助金が約一億円もあり、財政難の折、補助金の獲得に努力されたことを評価する。ふるさと特産品の振興に青島地

区で大根づけの生産に取り組まれるが、作ることよりも売ることが難しいので、販路の確保が第一である。全国どの市町村でもこの運動に取り組んでおり、各市町村に負けないアイデア、努力が必要である。この事業が水く持続できるように知恵をしばっていたきたい。

町の基幹産業である米の問題は町にとって一番大切。今回、贈答品用の米俵が作られたが、これも一つの方策である。今後とも、あらゆる手段を講じながら各課協力し、町を挙げてピーアールに努めていってほしい。

島地区で施工されている川水を利用した雪対策事業は、昨年の結果はよかったということだが、地下水には限度があるので、雪対策に川水が利用できれば、今後の除雪対策に大きな希望が持てることになると期待している。

除雪、防火に万全を かんばい事業で減水

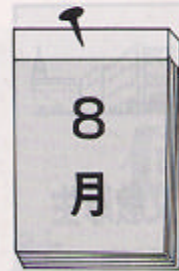
国管かんばい事業が本格着工され、各用水が減水になっている。これから冬に向けて、除雪対策や防火体制にとって非常に心配される。総額二百七十億円にもぼる大事業であり、町としても全面的に協力する必要があるが、そのため住民の生活に悪影響があつては困るので、常に連絡を充分とりながら遺憾のないように配慮されたい。



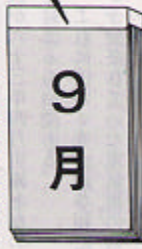
議 会 日 誌



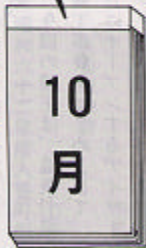
火遊びはしません
チッコ防火クラブ
—中町商店街で—



- 3日 新潟県小国町視察来町
- " 戦没者追悼法要
- " 青年議会組織議会
- 4日 県消防操法大会(富山市)
- 5日 上青小学校プール竣工式
- 7日 都市計画特別委員協議会
- 7日 議会だより編集委員会
- 8日 入善駅利用促進協議会
- 8日 小摺戸保育所起工式
- 9日 消防夜間訓練
- 10日 都市計画審議会
- 15日 小沢幸三郎氏記念像除幕式
- 18日 宮城県山元町議会視察来町
- 21日 水田農業確立対策協議会
- 25日 県町村議会議長会正副常任委員長研修会(富山市)
- 27日 議会議員研修会



- 3日 県町村議会議長会議員研修会(富山市)
- 4日 県総合防災訓練(富山市)
- 7日 県町村議会議長会理事會(小杉町)
- 9日 都市計画特別委員先進地視察(小矢部市・福光町)



- 10日 議会運営委員会
- 11日 国際文化センター開所式(富山市)
- 15日 国際ホテル落成式(宇奈月町)
- 16日 議員全員協議会
- " 第15回議定例会(提案理由説明)
- 17日 議会運営委員会
- " 都市計画道路陳情(富山県)
- 21日 議定例会(一般質問)
- 22日 産業建設常任委員会
- 24日 文教厚生常任委員会
- 25日 総務常任委員会
- 28日 東京入善会(東京都)
- 28日 議員全員協議会
- " 議定例会(各委員会報告、討論、採決、監査結果報告)
- 30日 舟見中学校組合議会

- 1日 社会福祉大会
- 2日 野中消防車入魂式
- " 友愛病院との調印式
- 6日 北陸自動車道促進協議会総会(富山市)
- 7日 東部議長会研修視察(石川県松任市)
- 8日 門山公民館落成式
- 10日 魚津市桃山野球場竣工式(魚津市)
- " 新屋上村公民館落成式



- 12日 決算特別委員会
- 13日 自治講演会(富山市)
- 15日 議員全員協議会
- 20日 黒部川神社例祭(宇奈月町)
- 21日 富山新聞社長就任式(富山市)
- 24日 入善町防火大会
- 27日 愛知県佐織町ほか議員団視察来町
- 28日 新川広域圏関係市町議会議員体育大会
- 29日 消防団秋季訓練
- 31日 身障者スポーツ大会

- 1日 入善町駅伝競走大会
- 4日 福野町議会議員視察来町
- " 日中国交正常化十五周年記念祝賀会
- 5日 決算特別委員会
- 6日 議会議員行政視察(沖繩県宜野湾市、豊見城村)
- 9日 米沢名譽町民茶会
- 10日 社会教育大会
- 13日 決算特別委員会現地調査
- 15日 議員全員協議会
- 16日 第16回議定臨時会
- 17日 議会だより編集委員会

編 集 後 記

○伊豆大島の三原山がちょうど一年ぶりに噴火しました。噴煙は上空四千以上に達し、火山弾が落下したと言います。

一年前の大噴火では全島民一万一千人が総避難。総額二十二億円の被害を出しており、住民の不安は測り知れないものがあることと思います。

○入善町での災害と言え、昭和四十四年八月の黒部川決壊と四十五年一月に海岸線一帯を襲った高浪が思い起こされます。

黒部川決壊では十三億七千万円、高波被害は三億六千万円に達し、自然の猛威の前には人間の無力さをつくづく感じさせられます。

○猛威を振う大自然も反面では大きな恵みを与えてくれます。四季折々の季節の彩りと山の幸海の幸、加えて冷たくおいしい豊富な地下水。この恵まれた大自然の中に生まれ育ったことに感謝し、この大切な自然を後世まで守り続けたいものです。

議会だより編集委員
大林 政雄 早川 誠一
若島 信行 岡島松太郎
野坂 俊一 広瀬 義孝
佐藤 学英 本多 幸男